

# 林業ミニ情報 No.134

平成28年3月

- 1 「水戸市みどりの少年団」の団長が緑化功労賞を受賞 ..... 1  
(水戸林業指導所 市村)
  
- 2 神栖町波崎の海岸防災林で植樹祭を開催 ..... 2  
(鉾田林業指導所 仲野)
  
- 3 「里山再生と食の安全を考える会」の取り組み ..... 2  
(土浦林業指導所 加藤)
  
- 4 「まちの庭入会人の会」がしいたけの植菌体験を実施 ..... 3  
(筑西林業指導所 千葉)
  
- 〔林産情報〕 素材・製材品価格及び新設住宅建設の動向 ..... 5  
(林業技術センター 益子)

## 1. 「水戸市みどりの少年団」の団長が緑化功労賞を受賞

公益社団法人国土緑化推進機構が主催する平成27年度緑化功労者の表彰で、当林業指導所管内から推薦した瀬谷和人氏（水戸市栄町）が、国土緑化推進機構理事長賞に決定しました。この表彰は、国土緑化運動に永年にわたって貢献し、その功績が顕著であった方を緑化功労者として表彰するものです。表彰は、来る6月7日に長野県で行われる第67回全国植樹祭の席上で行われます。

瀬谷氏は、昭和42年に結成された並松町児童公園愛護会の会長を昭和54年に引継ぎ、並松町児童公園（水戸市栄町）の清掃活動や花壇の花植えを現在にいたるまで40年近く行ってきました。さらに、昭和51年に第27回全国植樹祭が本県で開催されるのを契機に、それまでの地道な活動が評価され、水戸市公園緑地課から緑の少年団結成の打診を受け、昭和57年、並松町児童公園愛護会を母体として「水戸市緑の少年団」を結成し、同団長に就任しました。児童公園での清掃活動や花植えを通して児童を指導するとともに、緑の少年団として県や水戸市主催の緑化イベントに積極的に参加しています。また、団長就任から30年以上にわたり、千波湖湖畔、千波公園少年の森等で、茨城県主催の都市緑化祭の時期に合わせて毎年植樹活動を行ってきました。



植樹の様子

少子化により子どもの数が減少していることから、活動を継続することが困難な状況もありますが、活動に対する熱意はまだまだ衰えることなく持ち続けており、現在も緑の少年団として緑化イベント等に積極的に参加し植樹活動を継続すると共に、愛護会として並松町児童公園を中心に近隣の緑化美化活動を展開しています。

当林業指導所としましても、青少年の緑化運動の推進に対する活動を支援していきたいと考えています。



植樹後の様子（左側が瀬谷氏）

（水戸林業指導所 市村よし子）

## 2. 神栖町波崎の海岸防災林で植樹祭を開催

去る2月18日（木）、東日本大震災で被災した神栖市波崎の矢田部海岸において、海岸防災林再生のための植樹祭が開催されました。

この取り組みは、いばらき森づくりサポートセンターの主催により平成24年度より実施されている

もので、今回で4回目となります。平成24年度は鉾田市において開催し、平成25年度からは神栖市において実施してきています。(平成25年度からは神栖市も主催者となっています。)

今回の植樹祭には、県や市長はじめ神栖市の関係者、地元小・中学校の児童・生徒ら約400名が参加しました。

当日は、植樹作業に先立ち当林業指導所の林業普及指導員が苗木や植樹方法の説明を行った後、同市の波崎第三中学校の生徒、太田小学校、柳川小学校及び須田小学校の児童らが16の班に分かれ、静砂垣が設置された約1,200㎡の敷地内に、クロマツの苗木約1,200本を林業普及指導員らの指導のもと、移植ゴテを使って1本ずつ丁寧に植樹しました。

当林業指導所としても、海岸防災林の機能の再生を図るための取組に対して、引き続き支援していきたいと思っております。

(鉾田林業指導所 仲野 繁)



植樹方法の説明



植樹の様子

### 3. 「里山再生と食の安全を考える会」の取り組み

当指導所管内で、里山の環境保全活動や安全な原木しいたけの食育等に取り組んでいるNPO法人「里山再生と食の安全を考える会」を紹介します。

同会の理事長であり、自身も原木しいたけの生産者である飯泉孝司氏は、平成23年3月の福島原発事故による原木しいたけの放射能汚染問題の解決を目指して組織された「東日本原木しいたけ協議会」の会長として、原木の確保や放射線物質除染対策等の様々な課題に取り組まれてきました。

その取組の中で、原木しいたけの復興だけでなく、放射性物質の影響を受けた里山の再生に取り組むことの必要性を感じ、その考えに賛同した多くの関係者に声をかけ、当会を平成25年9月に設立しました。

平成28年2月末の会員は原木きのこ生産者、JA、生協の外、会の趣旨に賛同した一

般市民等，個人110人と41団体で構成されています。

同会では、つくば市近郊の里山（約5ha）を活動拠点として、下草刈り、雑木の伐倒、遊歩道の整備等の森林整備を進めるとともに、地域住民との植樹祭や交流会等のイベントを開催しています。

これらの活動の実施に当たっては、森林・山村多面的機能発揮対策交付金等の助成を受けており、当林業指導所の林業普及指導員が事業活用に係る指導を実施しています。

また、都市住民を対象にきのこ作り体験（植菌、収穫）を実施するとともに、恵比寿ガーデンプレイスで開催されるイベントに参加し、原木しいたけの展示と焼きしいたけの試食等を行っています。

さらに、去る平成28年2月27日には、JA 谷田部産直部会やパルシステム等と連携して「きのこの学校」を開催し、31家族89人の参加者に原木きのこの植菌・仮伏せ作業を体験してもらいました。

これらの活動に参加した会員や参加者からは、「原木しいたけの厳しい状況を理解した」、「きのこをどう生産しているかわかり安心につながった」との声をいただき、新たな会員、支援者も増えてきています。

同会では、今後、ホームページ等による情報発信にも力を入れていくとともに、企業等からも支援をいただけるよう、認定NPO法人へのステップアップを図っていくこととしています。

当林業指導所では、里山の森林保全と原木きのこの振興を図るため、同会の活動を積極的に支援していきたいと考えています。

（土浦林業指導所 加藤智一）



原木しいたけ展示様子



きのこ学校の様子

#### 4. 「<sup>いりあいびと</sup>まちな庭入会人の会」がしいたけの植菌体験を実施

去る2月21日（日）、常総市内の公民館において、まちな庭入会人の会がしいたけの植菌体験を行いました。

当会は、いばらき園芸療法研究会をはじめとする数団体が構成員となり、自然環境の中で農業や園芸活動を通じて医療・福祉，教育，地域コミュニティと関わる活動をしています。

当日は、園芸療法に関わる県外からの方や地元の方など約30名が参加しました。

はじめに、当林業指導所の林業普及指導員がパネルを用いて一連のシイタケ栽培の説明を行い、その後ドリルの使い方、穴の開け方などを実演しました。

参加者は、最初、不安げな様子でドリルを使って穴を開け、その穴にしいたけの駒を金槌で打ち込んでいましたが、作業に慣れてくると、楽しそうに植菌作業を行っていました。

最後に、ほだ木を適切に管理することにより来年の秋頃からしいたけが発生することを説明しました。特に、しいたけは直射日光や西日などが当たらない場所で、雨水がかかる場所に置くこと。また、乾燥すると菌の生長が悪くなるので、雨が降らない場合は、1週間に1度は散水することを説明しました。

当林業指導所では、森林・林業に関する技術指導などの協力要請に応じ、きのこ栽培や森林の働きなどの説明を行うことにより、森林・林業に関心をもってもらえるよう努めてまいります。



ドリルの使用方法説明の様子

(筑西林業指導所 千葉 太)

〔林産情報〕

茨城県の素材・製材品価格(平成28年)

単位：円/m<sup>3</sup>

区分	樹種	規格	種類	H27年 平均	H28年 時点平均	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
国産材	スギ	m cm cm 3.00 × 14~20	柱材	11,200	12,600	13,400	11,700												
		3.65 × 18~28	中目材	10,700	10,900	11,200	10,500												
		4.00 × 8~13	小径材	12,000	13,600	14,100	13,100												
	ヒノキ	3.00 × 14~20	柱材	14,300	15,400	15,400	15,300												
		4.00 × 18~28	中目材	16,000	16,600	16,900	16,200												
		4.00 × 8~13	小径材	12,100	12,200	12,800	11,600												
	米ツガ	11.00 × 径・36	コースト	28,000	28,000	28,000	28,000												
		11.00 × 径・28以下	j・ソート	25,000	25,000	25,000	25,000												
	外材	米マツ	11.00 × 径・40	カスケード	38,000	38,000	38,000	38,000											
			11.00 × 径・36	コースト	32,000	32,000	32,000	32,000											
		11.00 × 径・28以下	j・ソート	24,000	24,000	24,000	24,000												
		カラマツ	4.0	込	22,000	22,000	22,000	22,000											
エゾマツ	3.8	並材	24,000	24,000	24,000	24,000													
国産材	スギ	m cm cm 3.00 × 10.5 × 10.5	柱①	55,000	40,000	40,000	40,000												
		4.00 × 10.5 × 10.5	柱③	50,000	40,000	40,000	40,000												
		3.65 × 1.4 × 10.0	ヌキ	56,000	45,000	45,000	45,000												
		3.65 × 3.6 × 4.5	タルキ	53,000	45,000	45,000	45,000												
		3.65 × 4.5 × 10.5	敷居・鴨居	150,000	200,000	200,000	200,000												
		4.00 × 9.0 × 9.0	母屋	42,000	40,000	40,000	40,000												
	ヒノキ	3.00 × 12.0 × 12.0	柱①	110,000	70,000	70,000	70,000												
		4.00 × 12.0 × 12.0	土台	110,000	80,000	80,000	80,000												
		4.00 × 4.5 × 10.5	敷居・鴨居	380,000	300,000	300,000	300,000												
	マツ	4.00 × 12.0 × 24.0	平角	60,000	60,000	60,000	60,000												
	外材	米ツガ	3.00 × 10.5 × 10.5	柱	70,000	70,000	70,000	70,000											
			4.00 × 9.0 × 9.0	母屋	70,000	80,000	80,000	80,000											
		米マツ	4.00 × 12.0 × 24.0	梁	58,000	55,000	55,000	55,000											
		米ツガ	4.00 × 12.0 × 12.0	注入土台	75,000	70,000	70,000	70,000											
		エゾマツ	3.80 × 3.0 × 4.0	タルキ	70,000	70,000	70,000	70,000											
	集成材	3.00 × 10.5 × 10.5	柱	72,000	72,000	72,000	72,000												

注) 集成材は、1本あたりの単価をm<sup>3</sup>に換算  
 カスケード：大膽中央部カスケード山脈から産出される目詰みの材  
 コースト：太平洋沿岸部コースト山脈から産出される目詰みの材  
 j・ソート：北米における末口径11インチ下の細丸太、または日本向け丸太

茨城県の新設住宅建設の動向

単位：戸

区分/月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	
27	着工数	1,623	1,795	1,862	1,772	1,782	2,134	1,957	1,886	1,911	2,224	1,661	1,703	22,310
	木造数	1,127	1,151	1,098	1,316	1,298	1,456	1,399	1,421	1,391	1,445	1,149	1,174	15,425
	木造率	69.4%	64.1%	59.0%	74.3%	72.8%	68.2%	71.5%	75.3%	72.8%	65.0%	69.2%	68.9%	69.1%
	累計	1,623	3,418	5,280	7,052	8,834	10,968	12,925	14,811	16,722	18,946	20,607	22,310	
28	着工数	1,412												1,412
	木造数	1,070												1,070
	木造率	75.8%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	75.8%
	累計	1,412	1,412	1,412	1,412	1,412	1,412	1,412	1,412	1,412	1,412	1,412	1,412	

